



# おさかな瓦版

No. 46  
2012.3

シリーズ：日本海のさかなたち 第7回

## アカアマダイ



ふーちゃんのトピックス

家族みんなで自然にふれてみませんか？



ふつくんのなんでもコーナー

春のおさかな

# アカアマダイ

～わたしたちはマイホームで生活しています～

アカアマダイはスズキ目アマダイ科の魚で、東シナ海から太平洋側では千葉県あたりまで、日本海側では青森県あたりまで住んでいます。特に山口県、島根県、石川県、福井県で多く獲れます。関西の魚市場では、売られているアマダイ類の中ではアカアマダイが一番多く、約70%を占めます。そ



1. シロアマダイ(上)とアカアマダイ(下)  
アカアマダイは顔から尾びれにかけて赤いです

のほかに、ピンクがかった白色のシロアマダイ(1)や、少ないながらキアマダイもいます。

アカアマダイは、京料理ではよく使われる魚で「若狭ぐじ」とも呼ばれ、高値で取引されています(ワンポイント)。

アマダイという名前の由来は、身が甘いから甘鯛とか、頭の形が頭巾をかぶった尼さん(1)に似ているので尼鯛となったなど、さまざまな説があります。ちなみに京都や和歌山



1. 頭巾をかぶった尼さん!?



あんじいのワンポイントアドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

## アカアマダイの料理

アカアマダイは白身の魚で、どんな料理にも向いているのじゃ。「酒蒸し」や白味噌に漬け込んだ「西京漬け」、「一夜干し」、「しゃぶしゃぶ」、「棒寿司」など、なんでもうまいのう。



焼き物



蒸し物



📷 2. アカアマダイと巣穴



📐 2. 海底の巣穴にひそむようす

などでグジと呼ばれるのは、頭の形がへこんだ魚という意味の「屈頭魚(くすな)」からきているといわれています。

アカアマダイは、沿岸の水深30～150メートルの砂や泥の海底に住んでいます。敵から身を守るために、海底に巣穴“マイホーム”(📷2、📐2)を作って生活する習性があり、その周辺でエビやカニなどを食べ

そだて育ちます。

大きいものでは全長50センチ、体重1.7キロまでになり(📷3)、8～9年生きます。

日本海で獲れるアマダイ類の量は1995年には約2,000トンでしたが、最近では約1,000トンまで減ってしまいました。こうしたことから、水産総合研究センターでは、アカアマダイの子ども(📷3 チェック)を育てる研究に取り組んでいます。この研究のおかげで、現在、1万尾以上を海に放流できるようになり、放流して1年半から4年後に大きくなったアカアマダイが獲れるようになりました。しかし、まだその数は少なく、放流したあとの生活などを調べる研究もすすめています。(町田 雅春)



📷 3. 水揚げされた最大級のアカアマダイ (全長50センチ、体重1.7キロ)



チェック

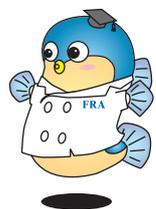
## アカアマダイの赤ちゃん和孩子

5ミリぐらいの赤ちゃんは顔にとげとげがあり、あまり親とは似ていないんだ。3センチぐらいになると大人に似た姿になってくるんだよ。このころから口で泥をついばみ、巣穴を掘ることができるようになるんだ。



アカアマダイの赤ちゃん(左、4.5ミリ)と、子ども(右、3センチ)

赤ちゃんは  
どう  
お父さんお母さんと  
ぜんぜんちがう  
すがた  
姿なんだね





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

「さかなと森の観察園」

竜頭の滝のすぐ近くです!

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3 ☎ 0288-55-0055

# 家族みんなで自然にふれてみませんか?

5月5日のこどもの日、「さかなと森の観察園」は中学生以下の入園料が無料になります。

池の中を泳ぐ大きなマスたちを見ながら、樹齢300年を超えるミズナラなどがしげる自然豊かな天然林の中を散歩してみませんか?



まあ! きれいなところね



さかなと森の観察園ウェブサイト ▶ <http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>

## 春のおさかな

ふっくんのなんでもコーナー

どんどん質問してね。ぼくが答えるよ!



「魚」へんに「春」と書くと鱈。瀬戸内海では春になると、サワラが卵を産むために集まり、よく獲れるようになるので、この漢字になったといわれているんだ。

このように春になると多くあらわれる魚のことを、春を告げる魚「春告魚」と呼ぶんだよ。たとえば北海道では、ニシンも春になると卵を産むために岸に近いところに押し寄せることから、春告魚と呼ばれているんだ。地方によって春告魚は、メバルなどほかの魚を指す場合もあるんだ。昔の人は魚から春の訪れを教えてもらっていたんだね。



サワラ



ニシン



ふーちゃん



ふっくん

せんじん(仙人)のもとで修行(しゅぎょう)している研究員(けんきゅういん)です

## おさかな瓦版 No.46 (2012年3月発行)

編集・発行: 独立行政法人 水産総合研究センター

質問の送り先・お問い合わせ先: 広報室

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3

クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報室までハガキを送ってね。〈聞きたいことの内容〉、〈学年〉、〈住所〉、〈名前〉を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



研究所で飼育しているアカアマダイ成魚